

	<p style="text-align: center;">ふくろ い し <b>静岡県 袋井市</b></p> <div style="text-align: center;">         市章     </div> <div style="text-align: center;">         袋井市キャラクター  <b>フッピー</b> </div>	<p>【データ】 ※平成 29 年 4 月 1 日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口： 87,557人</li> <li>・世帯数： 33,394世帯</li> <li>・面積： 108.33k㎡</li> <li>・市の花： コスモス</li> <li>・市の木： キンモクセイ</li> <li>・市の鳥： フクロウ</li> <li>・特産物： 米、茶、マスクメロン</li> <li>・主な行事・イベント：          ラグビーテストマッチ 日本 VS アイルランド（6月）          ふくろい遠州の花火（8月）          どまん中ふくろいウオーク（10月）          どまん中ふくろい宿場まつり（10月）          クラウンメロンマラソン（12月）</li> </ul>
---	---	---

### ◆袋井市の紹介



日本一のマスクメロン

袋井市は、静岡県の西部に位置し、全国的にも日照時間が長く、豊かに広がる田園や美しい茶畑、市域を流れる太田川と原野谷川、更には遠州灘など豊かな自然環境に恵まれています。遠州三山(法多山尊永寺、萬松山可睡齋、医王山油山寺)に代表される古刹・名刹もあり、古くは、東海道五十三次のどまん中の「袋井宿」として栄えました。昭和 44 年の東名高速道路開通後は、米、茶、温室メロンに代表される農業に加え、工業、商業の集積が進み、農業・商業・工業のバランスがとれた田園型都市として発展を続けています。

### ◆健康都市の取り組み

袋井市は、合併前の平成 5 年 11 月に「日本一健康文化都市宣言」を行い、平成 17 年の合併後は、市制施行 5 周年を機に、新たに「日本一健康文化都市宣言」を制定し、平成 28 年に「日本一健康文化都市条例」を制定しました。

#### 日本一健康文化都市宣言

～人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市～  
 青く輝く海原と緑あふれる大地に抱かれ、先人によって築かれたふるさとふくろいを、わたしたちは受け継いできました。

この恵まれた地域で、心やからだの健康を増進することはもとより、健康生活を支える自然を守り、地域社会を充実させていくことも、わたしたちみんなの願いです。

わたしたちは、健康意識を高くもち、一人ひとりが「心の健康」、「からだの健康」、「まちの健康」を追求し、すべての人びとを幸せにしていきます。

わたしたち袋井市民は、住んでよかったという喜びを実感できるまちを目指し、ここに袋井市を日本一健康文化都市にすることを宣言します。

平成22年5月16日

### ◇袋井市健康づくり計画

袋井市では、すべての市民が健やかで、心豊かに生活していくための「健康づくりの指針」として「健康づくり計画(H28-H34)」を策定しました。

計画の「めざす姿」を、【生活習慣病予防と介護予防により「市民がともに進める」健康寿命の延伸～お達者度『県下一』をめざします！～】とし、一人ひとりの主体的な健康づくり活動が活発になるとともに、年代に応じた様々な健康支援が提供される環境の整備により、市民がともに健康寿命の延伸に向けた取組を進めます。

### ◇健康マイレージ制度（フッピー健康ポイント事業）

フッピー健康ポイント事業は、毎日の健康づくり（運動・食事）の実践記録をポイント化し、貯めたポイントを公共施設の利用券や民間の登録サービス券と交換、あるいは幼稚園や学校等へポイントの寄付をすることにより人づくりやまちづくりに貢献ができる制度です。

また、18歳以上の成人と、3歳から15歳（中学生）までの子どもの参加方法は分かれており、子どもは「家族と一緒に食事をとること」を目標に参加し、幼児期からの適切な食習慣の定着化に取り組んでおり、昨年度の全体参加者数は11,604人です。

事業開始から11年目を迎えた今年度は、より多くの市民が参加できるよう、新システムの開発に着手します。

### ◆市民団体の活動内容

地域における健康づくり活動の推進と、市の実施する健康づくり事業の効果的な推進を図るため、各自治会に男女1名ずつの「健康づくり推進員」を委嘱(任期1年、無報酬)しています。

「健康づくり推進員」の主な活動内容は、地域コミュニティの中心の場である「公会堂（集会所）」などの会場に、運動指導者が出向き、簡単な運動を行う「公会堂出前健康教室」の企画・開催や地区担当保健師・栄養士が中心となり、地域の健康課題を把握し、地域の診療所や健康づくり食生活推進員などの健康づくりを推進する関係者等と連携・協力しながら行う「地域健康寺子屋」の開催があります。

### ■自治体病院の統合による中東遠総合医療センターの開院

医師・看護師不足による、地域医療機能の確保と厳しい病院経営の課題を解決し、二次医療圏域の拠点病院として、最新の医療技術に対応した質の高い医療サービスを安定的に提供するため、隣接する掛川市との統合新病院「掛川市・袋井市病院 企業団立中東遠総合医療センター」を平成25年5月1日に開院しました。

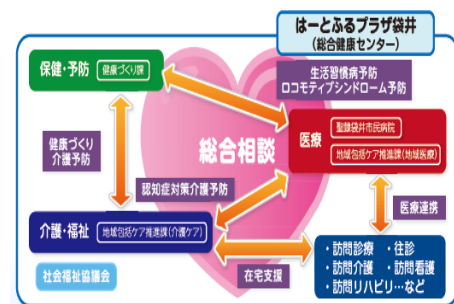


中東遠総合医療センター

### ■はーとふるプラザ袋井（袋井市総合健康センター）の開設

中東遠総合医療センター等と連携した急性期から療養・回復期・在宅へと切れ目のない環境整備として平成27年5月7日に開所しました。

はーとふるプラザ袋井では、ワンストップ相談窓口を設置し、ライフステージ別の健康指導、健康づくり教室の開催、地域や事業所等と連携した見守りネットワークの構築などを推進し、保健から医療、介護、福祉を通じた総合的な地域包括ケアシステムの拠点としての役割を担います。



### ◎「第5回健康寿命をのばそう！アワード」2部門W受賞の快挙達成！

袋井市の健康づくりや介護予防の取組が評価され、厚が健康寿命の延伸につながる優れた事例を表彰する「第5回健康寿命をのばそう！アワード」において、「生活習慣病予防」と「介護予防・高齢者生活支援分野」の2部門で優良賞をいただきました。

2部門での同時入賞は全国初となります。



静岡県袋井市総合健康センター（はーとふるプラザ袋井）

健康づくり課健康企画室 電話(0538)84-6127